



初夏を迎え、若葉が芽吹く季節となりました。新入生の部活動見学週間ということで校内を見学していたところ、茶道部外部講師の白土先生からお声かけいただき、思いがけなく生徒のお点前を頂戴することができました。

八十八夜の日、美味しくそして心豊かなひとときを過ごせ感激いたしました。次は、「七夕茶会」にてお誘いをうけ楽しみにしております。

5月に入り各部活動での活躍がめざましく、朝礼でも連日うれしい報告を聞くことができます。

陸上部は、何と15種目23名が県予選大会へ出場が決まり、県立高校では最上位の結果を残してくれるなど大変誇らしいものです。中でも、陸上部主将の3年 工藤 実幸乃さん（石峯中出身）は昨年に続き2年連続の大会 MVP ということでインターハイに向けて次なる関門も突破してくれるのではと期待の星です。出張等で他校の先生方にお会いしても、皆さん、筑豊高校の陸上部の活躍に注目しておられ、地元福岡で開催されるインターハイに向けて応援してくださっています。応援される部活動に育ててくださっている顧問の先生方に、何より感謝の日々です。

ソフトテニス部も北部筑豊ブロック予選会でベスト16に入賞し、県大会への出場が決まりました。個人戦、3年 渡邊 駿さん（小竹中出身）・2年 鍛治 旺さん（宮若東中出身）ペア、3年 田原 到真さん（直方第二中出身）・3年 松本 琉聖さん（直方第二中出身）ペアの2ペアの今後の健闘が楽しみです。



また、ビジネス部（ワープロ部）は、ワープロ競技大会において技能の部団体が優勝（大会四連覇）、個人の部で3年 松井 海琉さん（宮若東中出身）が優勝、個人3位に3年 西野 仁人さん（直方第二中出身）がそれぞれ入賞し、速度の部で団体4位など見事な成績を収め、7月の九州大会に出場が決定しました。

「必ず連覇してきます！」と有言実行の勝利で、再び優勝カップが筑豊高校に戻り今後のさらなる活躍も期待しています。

書道部は6月に直方市にオープンする就業継続支援のうどん店の壁面に『感謝』と揮毫し、ペイントする取り組みを行い、先日、西日本新聞に活動の様子が掲載されました。「地域に愛される温かいお店にしたい」というオーナーの方の思いを大切に、コンクリートに文字を書くという難しいミッションに部員一丸となりチャレンジしてくれました。筑豊高校の生徒達がそれぞれの特技を活かし、地域に貢献する機会を与えていただいていることに感謝いたします。

また、書道部3年 堀川 美羽さん（中間南中出身）は、今年度、岐阜で行われます第48回全国高等学校総合文化祭（2024 ぎふ総文）「書道：創作部門」に県代表として推薦され作品を出品することが決定しています。

無限の可能性に挑戦してくれる頼もしい筑豊高校生達です。



西日本新聞  
令和6年5月8日(水)掲載